

RAID 環境でのカーネルアップデート時の注意事項

1. はじめに

HA8000-bd/BD10 X2 RAID モデルにて、Red Hat Enterprise Linux 5(以下、RHEL5)をご使用になる場合、yum update やソフトウェアアップデーターによりカーネルをアップデートすると、OS 起動時に kernel panic が発生し OS が起動できなくなります。

カーネルアップデートを行う場合は、本内容の手順にしたがってアップデートを実施してください。

Red Hat Enterprise Linux 6 では、本手順を実施する必要はありません。

2. 適用機種、形名

本情報は、以下のモデルに関するものです。

HA8000-bd/BD10 X2 RAID モデル

3. 対応方法【カーネルアップデート時の操作手順】

(1)カーネルアップデート前にターミナルを立ち上げ、次のコマンドを実行し現在のカーネルバージョンを確認します。

```
# uname -r
```

(2)カーネルをアップデートします。

カーネルのアップデートモジュールインストール後に、OS の再起動はしないでください。

再起動すると、kernel panic となり OS が起動できなくなります。

(3)次のコマンドを実行し、カーネルモジュールのディレクトリを確認します。

```
# ls -l /lib/modules
```

(4)下記コマンドを実行し、RAID ドライバをアップデート後のカーネルモジュールのディレクトリにコピーします。

```
# cp /lib/modules/x.x.xx-xxx.el5/updates/megasr.ko /lib/modules/y.y.yy-yyy.el5/updates
```

x.x.xx-xxx.el5 は手順(1)で確認したアップデート前のカーネルバージョンを入力します。

y.y.yy-yyy.el5 はアップデート後のカーネルバージョンを入力します。

(5)下記コマンドを実行し、initrd を再作成します。

```
# depmod -a y.y.yy-yyy.el5  
# mkinitrd -f /boot/initrd-y.y.yy-yyy.el5.img y.y.yy-yyy.el5
```

y.y.yy-yyy.el5 はアップデート後のカーネルバージョンを入力します。

(6)OS を再起動します。

4. その他

項番 3. の手順(2)で OS を再起動させてしまった場合、OS 起動時の GRUB のブートメニュー画面で、アップデート前のカーネルから起動して、上記手順(3)～(6)の操作を実施してください。

- 以上 -